

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲 載 ページ
本 部	9月25日(木)	岩盤力学委員会研究会 昭和48年度全国大会〈北海道支部共催〉 映画会 海外事情に関するシンポジウム〈関東支部共催〉 第20回海岸工学講演会〈中部支部共催〉 海外事情に関するシンポジウム〈関東支部共催〉 第7回トンネル工学に関するシンポジウム 海外事情に関するシンポジウム〈関東支部共催〉	土木学会	本号本文 114 頁参照
	10月1日(月)		札幌市	7月号本文 1~48 "
	~3日(水)		土木学会	本号本文 114 "
	10月13日(土)		土木学会	本号本文 120 "
	10月18日(木)		土木学会	本号本文 115 "
	11月14日(水)		名古屋市	本号本文 120 "
	~16日(金)		土木学会	本号本文 119 "
	11月15日(木)		東京	本号本文 120 "
11月29日(木)	土木学会	仙台市	本号本文 125 "	
~30日(金)			本号本文 125 "	
12月13日(木)	技術講座と映画の会	本号本文 125 "		
2月22日(金)	技術研究発表会	本号本文 125 "		
関 東 支 部	9月28日(金)	講 演 会 見 学 会 講 習 会	土木学会	8月号本文 118 "
	10月29日(月)		山梨県	本号本文 126 "
	~30日(火)		東京	本号本文 126 "
12月3日(月)				
中 部 支 部	10月19日(金)	第2回講演会	長野市	本号本文 126 "
関 西 支 部	9月26日(水)	講習会「仮設計画の基礎」 映画の夕 都市計画に関する講演会 同	大阪市	8月号本文 119 "
	同		同	8月号本文 119 "
	10月24日(水)		同	本号本文 127 "
11月28日(水)	同	同	本号本文 127 "	
そ の 他	10月23日(火)	第21回レオロジー討論会 第23回応用力学連合講演会 有限要素法東京セミナー 第20回橋梁・構造工学研究発表会 第4回岩の力学国内シンポジウム	京都市	6月号本文 120 "
	~25日(木)		東京	本号本文 124 "
	10月30日(火)		同	7月号本文 145 "
	~31日(水)		同	本号本文 121 "
	11月5日(月)		同	本号本文 122 "
	~10日(土)		同	
11月13日(火)				
~14日(水)				
11月27日(火)				
~28日(水)				
お 知 ら せ	■ 第10回衛生工学研究討論会のお知らせ			本号本文 114 "
	■ 第18回水理講演会講演募集			本号本文 118 "
	■ 海外活動委員会研究会開催についてのご案内			本号本文 120 "
	■ 第8回土木計画学シンポジウム課題報告公募			本号本文 121 "
	■ 「土木図書館規程等の一部変更について」お知らせ			8月号本文 121 "

支 部 所 在 地

北海道支部：郵便番号 060・札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階（電 011-251-7038, 261-7742）
 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町18-25・丸七ビル3階（電 0222-22-8509）
 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内（電 03-351-4133）
 中部支部：郵便番号 460・名古屋市中区栄2丁目17番22号・科学館内 中部科学技術センター（電 052-231-3043）
 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号（電 06-271-6686）
 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町10番3号・自治会館内（電 0822-21-2666）
 西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号（電 092-78-3716）

映画会開催について

▶ 10月13日(土) ◀

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
 2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00～ 10月13日(土)です。
 3. 上映作品：10月13日は、次の映画を予定しております。

「都市と緑」	28分	}	清水建設(株)提供
「都市を拓く」	32分		
「天竜川その電力をひらく」		29分	電源開発(株)提供

なお、上映映画は都合により変更することがございますので、あらかじめご了承下さい。
 4. 参加費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。
本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。
- 共 催：土木学会関東支部

第10回衛生工学研究討論会のお知らせ

本年度の衛生工学研究討論会は土木学会講堂にて1974年1月28日より30日の間に行なう予定ですので関心のある方はご準備下さい。

本年は『水の高度浄化』に関するセミナーと自由題目の2種類の論文を募集いたします。水の高度浄化に関するセミナーは技術(ハードウェア)と考え方(ソフトウェア)を中心とする2つのグループに分けて行なう予定です。セミナーを対象に応募された論文でも組合わせの都合上自由題目の部で発表をお願いすることもありますのでご了承下さい。

原稿締切は9月15日とし、原稿は本会所定のオフセット用原稿用紙6ページといたします(ページ数を厳守のこと)ので必要な方はお申出下さい。

昭和48年度岩盤力学委員会第1回研究会開催についてご案内

土木学会岩盤力学委員会は、岩盤力学に関する調査研究を行なっておりますが、調査研究活動の一環として特定なテーマを決めて研究会を適宜開催しております。

委員会としては、この研究会をより活発にするために委員会委員以外の方にも参加していただき、討議および研究情報交換等を行なうことになりました。

については、標記研究会を下記により開催致しますので、多数ご参加下さるようご案内致します。

記

1. 開催日時：1973年9月25日(火) 13:30～11:00
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目、国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
3. 研 究 会：

講演—1. かぶりの浅いトンネルの掘削について——山陽新幹線北九州トンネル——	国鉄下関工務局戸畑工事区長 飲塚 一 力
講演—2. 武蔵野南線、生田トンネルの施工について	日本鉄道建設公団 東京支社工事第1部長 重松 治
4. 参加費：無料(聴講自由)
5. 定 員：180名(当日満員の際はおことわりすることがありますのでご承知おき下さい)

土木技術者のための法律講座

●増補改訂版完成・発売中●

●B5判・126ページ 8ポ二段組並製 1100円 会員特価 1000円(〒100円) ●

●総論●財政・会計制度●建設業法●標準契約約款●公害対策基本法●騒音規制法●水質汚濁防止法●大気汚染防止法●労働基準法および関係法令●市街地土木工事公衆災害防止対策要項および火薬類取締法●道路交通関係法令●河川・砂防・海岸・公有水面行政法規●港湾関係法令●都市計画法●水道法●下水道法●建築基準法●宅地造成等規制法●土地収用法●

第 20 回海岸工学講演会

▶ 11 月 14 日 (水) ~ 16 日 (金) ◀

第 20 回海岸工学講演会は、次の日程により名古屋市において開催致しますので、多数ご参加下さるようご案内致します。

主催：土木学会海岸工学委員会／共催：土木学会中部支部

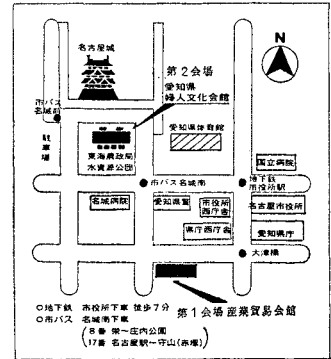
1. 期 日：1973 年 11 月 14 日 (水), 15 日 (木), 16 日 (金) の 3 日間

2. 会 場：第 1 会場：愛知県産業貿易会館 4 階第 1 会議室
(名古屋市中区丸の内 3 丁目 1 番 6 号)
第 2 会場：愛知県婦人文化会館講堂
(名古屋市中区三の丸 1 丁目 2 番地)

3. 参加方法：参加費無料，自由参加

4. 講演題目：○印は講演者

<会場案内図>



第 1 日：11 月 14 日 (水) 第 1 会場 (愛知県産業貿易会館)

- 9:00~9:05 開会挨拶 海岸工学委員会委員長 尾崎 晃
- 9:05~9:20 (1) 円柱に作用する不規則波力について 京都大学 岩垣雄一・○石田 啓・鹿島建設(株)・千田哲雄
- 9:20~9:35 (2) 円柱に作用する不規則波力の特性(慣性項の支配的となる場合について)大阪大学 榎木 亨・○中村孝雄
- 9:35~9:50 (3) 大口径円柱に作用する波圧について 建設省土木研究所 橋本 宏・○白波源正道
- 9:50~10:05 (4) 杭式シーパースの波力問題—50 万トンシーパースに対する模型実験—運輸省港湾技術研究所 谷本勝利
- 10:05~10:25 討 議 (1)~(4)
- 10:25~10:35 休 憩
- 10:35~10:50 (5) 柱体に作用する全波力について 京都大学 土屋義人・○山口正隆
- 10:50~11:05 (6) 海中の近接した 2 個の冷却水取水塔に作用する波力 電力中央研究所○中村 宏・阿部宣行
- 11:05~11:20 (7) 円柱に作用する砕波力に関する研究 東京大学 細川清司・○渡辺 晃・勝井秀博
- 11:20~11:35 (8) 円柱に作用する砕波の波力 九州大学 光易 恒・○本多忠夫
- 11:35~11:55 討 議 (5)~(8)
- 11:55~13:00 昼食休憩
- 13:00~13:15 (9) 捨石堤背後の伝達波高について 大阪工業大学○久保弘一・井田康夫
- 13:15~14:30 (10) ブロック積み防波堤の波高伝達率に関する実験的研究 中央大学 服部昌太郎・○堺 和彦
- 13:30~13:45 (11) Tine Block の特性 日本港湾コンサルタントKK○高 隆二・木村 弘
- 13:45~14:00 (12) 二層透過性または遊水部をもつ直立消波護岸の理論と実験 九州大学 井島武士・○奥塚英明・坂井久雄
- 14:00~14:20 討 議 (9)~(12)
- 14:20~14:30 休 憩
- 14:30~14:45 (13) 任意形状の透過および不透透防波堤による波の散乱と波力 九州大学○井島武士・周 宗仁・湯村やす・熊本大学 田淵幹彦
- 14:45~15:00 (14) 透過性浮防波堤の構造と消波効果 中央大学○服部昌太郎・KK開発機構 波木 守・高橋孝雄
- 15:00~15:15 (15) 透過性構造物による砕波の変形 室蘭工業大学 近藤淑郎・○藤岡 聡
- 15:15~15:30 (16) 固定された海上構造物による波の反射と透過—Green 関数による理論解— 東京工業大学 日野幹雄・○藤崎治男
- 15:30~15:50 討 議 (13)~(16)
- 15:50~16:00 休 憩
- 16:00~16:15 (17) 海岸堤防の越波機構について 関西大学 井上雅夫
- 16:15~16:30 (18) 防波護岸の越波に関する現地観測(第 II 報) 運輸省第二港湾建設局 福田伸男・宇野俊泰・○入江 功
- 16:30~16:45 (19) 深い水深の消波構造とその効果—波の位相差の利用— 中部工業大学 高田 彰
- 16:45~17:00 (20) 埋立地造成に伴ううちあげ高，沿岸流の変化(第 2 報) 徳島大学 三井 宏・○筒井茂明・鹿島建設KK 亀川和正
- 17:00~17:20 討 議 (17)~(20)

第 1 日：11 月 14 日 (水) 第 2 会場 (愛知県婦人文化会館講堂)

- 9:15~9:30 (21) マリーナ計画のための海岸工学的基準(2) 東海大学 酒匂敏次・日本テトラポッドKK○野尻徹郎・松浦栄一
- 9:30~9:45 (22) 海浜リゾートのプランニングについて(I) 日本テトラポッドKK 野尻徹郎・○松井 豊・妻夫木一彦
- 9:45~10:00 (23) 津波防潮水門の効果と設計波圧について—小本川水門の場合— 長崎大学○富樫宏由・山口進吾・長崎大学 平山康志
- 10:00~10:15 (24) 水門に作用する段波の波圧について 京都大学 土屋義人・○中村重久
- 10:15~10:35 討 議 (21)~(24)
- 10:35~10:45 休 憩
- 10:45~11:00 (25) 設計津波の「波元域」 東北大学 岩崎敏夫

- 11:00~11:15 (26) 長周期波による矩形湾内の振動と湾口条件 東北大学 岩崎敏夫・○真野 明・長谷川明・前原隆生
 11:15~11:30 (27) 港湾の屈曲および断面変化にともなう長波の変形 東京大学 堀川清司・○西村仁嗣
 11:30~11:45 (28) 共振時における港内波浪の諸特性について 京都大学 岩垣雄一・徳島大学工業短期大学○村上仁士
- 11:45~12:05 討 議 (25)~(28)
- 12:05~13:00 昼食休憩
- 13:00~13:15 (29) 波運動下での動拡散 中央大学○首藤伸夫・アジア工科大学院 レ・フ・ティ
 13:15~13:30 (30) 海底から放出される廃液のブリュームの浮上拡散について(第3報) 中央大学 林 泰造・○伊藤正樹
 13:30~13:45 (31) 水面上に放出された温排水の広がりについて 中央大学 林 泰造・○宮原英治
 13:45~14:00 (32) 拡散の数値解法における差分化について 運輸省 堀口孝男
- 14:00~14:20 討 議 (29)~(32)
- 14:20~14:30 休 憩
- 14:30~14:45 (33) 潮汐流の影響を受ける拡散現象の基礎的研究 東京大学 堀川清司・玉井信行・電力中央研究所○田中寛好
 14:45~15:00 (34) 潮汐水理模型による拡散予測(II) 電力中央研究所 和田 明・○加藤正進・片野尚明
 15:00~15:15 (35) 瀬戸内海大型水理模型による実験的研究(予報) 通産省工業技術院○井原 潤・肥後竹彦・田辺弘道・平田静子
- 15:15~15:30 (36) 閉鎖性内湾の海水交換について 農林省農業土木試験場 中村 充・乃万俊文・荻野静也・○吉沢 裕
 15:30~15:50 討 議 (33)~(36)
- 15:50~16:00 休 憩
- 16:00~16:15 (37) Crenellated Breakwater の拡散性 日本港湾コンサルタントKK 高 隆二・○田川昌宏
 16:15~16:30 (38) エアバブルカーテンによる水質改善に関する研究 農林省農業土木試験場 中村 充・大西亮一・○荻野静也・東海大学 井上謀一
- 16:30~16:45 (39) 底層水の選択取水に関する研究 農林省農業土木試験場 中村 充○乃万俊文・東海大学 不破政一
 16:45~17:05 討 議 (37)~(39)
- 17:05~17:20 ▶故速水頌一郎教授追悼講演◀「故速水頌一郎先生と海岸工学」 愛媛大学 樋口明生

第2日: 11月15日(木) 第1会場(愛知県産業貿易会館)

- 9:15~9:30 (40) 浮子とロープで結合された浮遊構造物の運動 東洋大学 本間 仁・○荻原国宏
 9:30~9:45 (41) 洋上パイの最適形状・重畳に関する研究 大阪市立大学 永井荘七郎・角野昇八・○芝原 平・柳沢正行
 9:45~10:00 (42) 海中構造物に対する船舶衝突防止施設に関する研究 大阪市立大学 永井荘七郎・○小田一紀
- 10:00~10:20 討 議 (40)~(42)
- 10:20~10:30 休 憩
- 10:30~10:45 (43) 混成防波堤直立部に作用する波力および揚圧力に関する実験的研究 東京大学 堀川清司・日本テトラポッドKK○宮崎和行
- 10:45~11:00 (44) 波峰付近における波圧に関する実験的研究 日本大学 久宝雅史・○竹沢三雄・鹿島建設KK 植木隆彦
 11:00~11:15 (45) 海岸堤防に作用する不規則波の波力 建設省土木研究所 橋本 宏
 11:15~11:30 (46) 消波模型実験を用いた合理的設計法について 岐阜工業高等専門学校 菅野 一
- 11:30~11:50 討 議 (43)~(46)
- 11:50~13:00 昼食休憩
- 13:00~13:15 (47) 円柱構造物に働く潮流力に関する基礎的研究 大阪市立大学 永井荘七郎・倉田克彦・大阪市○伊藤 忠
 13:15~13:30 (48) 潮流海域における浮遊式鋼管構造物および海底パイプライン等に作用する振動力について 新日本製鉄KK 山本 諒・○岡田欣治
- 13:30~13:45 (49) 潮流中のアンカーチェーンの形状およびその両端に働く張力に関する研究 大阪市立大学 永井荘七郎・○倉田克彦・大阪市 伊藤 忠
- 13:45~14:00 (50) 波浪と潮流に対するベン(小さなかこい)の運動特性 東海大学 長崎作治
- 14:00~14:20 討 議 (47)~(50)
- 14:20~14:30 休 憩
- 14:30~14:45 (51) 重複波による浮遊粒子の挙動の特性について 京都大学 岩垣雄一・○平山秀夫
 14:45~15:00 (52) 進行波による底質の浮遊機構について 名古屋工業大学○細井正延・水産庁 木田三次
 15:00~15:15 (53) 進行波による底質の浮遊機構(II) 鳥取大学 野田英明・岩佐敏博
 15:15~15:30 (54) 海浜流系の発生理論(3) 東京工業大学 日野幹雄
- 15:30~15:50 討 議 (51)~(54)
- 15:50~16:00 休 憩
- 16:00~16:15 (55) 可動物質海岸の平面形状の変化と安定 防衛大学校 真崎恭雄
 16:15~16:30 (56) 潮位変化による海浜砂礫粒度の変動 東海大学 森藤 晃
 16:30~16:45 (57) 波による海浜変形に関する一考察 東京大学 堀川清司・○砂村健夫・運輸省 鬼頭平三
 16:45~17:00 (58) 備讃瀬戸におけるサンドウエーブの特性について 運輸省港湾技術研究所 田中則男・○小笹博昭・柴山煥彦
- 17:00~17:20 討 議 (55)~(58)

第2日：11月15日（木）第2会場（愛知県婦人文化会館）

- 9:20~9:35 (59) 河川潮流の研究 (第3報)
理化学研究所 宇野木早苗・通産省工業技術院 上嶋英機・東海大学○山下浩一
- 9:35~9:50 (60) 潮流による塩水くさびの応答 (1)
北海道大学○柏村正和・吉田静男
- 9:50~10:05 (61) 小川原湖の浸入海水について
北海道大学○福島久雄・八畷 功・高橋 将・大谷守正
- 10:05~10:20 討 議 (59)~(61)
- 10:20~10:30 休 憩
- 10:30~10:45 (62) 数値モデルによる有限振幅波の研究
電力中央研究所 和田 明
- 10:45~11:00 (63) 波動解析への有限要素法の適用
川崎重工KK○坂井藤一・河合三四郎
- 11:00~11:15 (64) 浅海における波の変形——とくに Soliton の発生について——
京都大学 上屋義人・○安田孝志
- 11:15~11:30 (65) 浅水領域における波形の分裂現象——二次波岸と Soliton について——
名古屋工業大学 石田 昭・清水建設KK 石田和生
- 11:30~11:50 討 議 (62)~(65)
- 11:50~13:00 昼食休憩
- 13:00~13:15 (66) 波状底面上の流れによる表面波
浜田徳一
- 13:15~13:30 (67) 流れを避る波のエネルギーの減衰について (Ⅲ)
東北大学 佐藤道郎
- 13:30~13:45 (68) 波による海底砂床内の浸透について
農林省農業土木試験場○中村 充・大西亮一・東海大学 南出英男
- 13:45~14:00 (69) 振動流境界層に関する実験
東京大学 堀川清司・○水口 優
- 14:00~14:20 討 議 (66)~(69)
- 14:20~14:30 休 憩
- 14:30~14:45 (70) 海洋波の方向スペクトルについて
九州大学 光易 恒・水野信二郎・本多忠夫・石石園男
- 14:45~15:00 (71) 風波の方向スペクトルと分散方程式
九州大学 光易 恒・○石石園男
- 15:00~15:15 (72) 浅海における風波の一次元スペクトル推算法
台湾成功大学 郭 金棟
- 15:15~15:30 (73) 海岸不規則波の Short-time spectra とその応用について
北海道大学○浜中建一郎・電信電話公社 沢橋剛志
- 15:30~15:50 討 議 (70)~(73)
- 15:50~16:00 休 憩
- 16:00~16:15 (74) 送風による波の減衰に関する実験的研究 (2)
九州大学 光易 恒・○水野信二郎
- 16:15~16:30 (75) 任意のスペクトル形を有する現地波浪のシミュレーション法に関する研究
京都大学 岩垣雄一・○木村 晃
- 16:30~16:45 (76) 港内波浪性質に関する研究
台湾成功大学○湯 麟武・李 沢民・望 根森
- 16:45~17:00 (77) 不規則な波の振幅の極大値の連なりについて
運輸省 永井康平
- 17:00~17:20 討 議 (74)~(77)

第3日：11月16日（金）第1会場（愛知県産業貿易会館）

- 9:00~9:15 (78) 下新川海岸の海浜過程について
京都大学 土屋義人・○芝野照夫
- 9:15~9:30 (79) 須磨海岸における養浜について
運輸省港湾技術研究所 佐藤昭二・○田中剛男・佐々木克博
- 9:30~9:45 (80) 護岸前面海底地形の変化に関する一実験
東北大学 沼田 洋
- 9:45~10:00 (81) 海浜変形パターンと海岸施設維持対策
北海道大学 尾崎 晃
- 10:00~10:20 討 議 (78)~(81)
- 10:20~10:30 休 憩
- 10:30~10:45 (82) 福島県海岸の侵食と地形特性について
建設省土木研究所○豊島 修・建設省福島工事事務所 奥田光男・福島県 武藤徳一
- 10:45~11:00 (83) 駿河湾田子の浦海岸の浸食対策に関する研究
静岡県 市川 武・日本テトラポッドKK 遠藤泰司・前田 建・○野口雄二
- 11:00~11:15 (84) 新潟海岸の離岸堤の効果
運輸省第一港湾建設局 片山猛雄・入江 功・○川上俊雄
- 11:15~11:30 (85) 高知県仁井田海岸の侵食防止に関する実験 (特にT型突堤の効果について)
高知大学 上森千秋・○玉井佐一
- 11:30~11:50 討 議 (82)~(85)
- 11:50~12:00 閉会挨拶
海岸工学委員会委員長 尾崎 晃

第3日：11月16日（金）第2会場（愛知県婦人文化会館）

- 9:00~9:15 (86) 長大接橋を利用した容量型波高計群による波浪観測について
京都大学○土屋義人・山口正隆・芹沢重厚
- 9:15~9:30 (87) 大渦海岸における浪波の変形について (2)
愛媛大学○柿沼忠男・立命館大学 三ツ谷敏雄・川合 茂
- 9:30~9:45 (88) 干潟上の波浪流——電磁流速計による測定——
農林省農業土木試験場 大西亮一
- 9:45~10:00 (89) 自然海浜における打上げ波の特性に関する現地観測
東京大学外国人研究員 エヴアンス・ワデル
- 10:00~10:20 討 議 (86)~(89)
- 10:20~10:30 休 憩
- 10:30~10:45 (90) 斜面上の砕波の水粒子速度の鉛直分布と砕波型について
京都大学 岩垣雄一・酒井哲郎・川崎重工KK○月岡康一・三井建設KK 沢井信敏

- 10:45~11:00 (91) 砕波後の波の変形に関する研究 北海道大学○佐伯 浩・佐々木幹夫
 11:00~11:15 (92) 砕波後の波の変形に及ぼす乱れの効果について—砕波の内部機構に関する基礎的研究 第3報—
 大阪大学 榎木 亨・○岩田好一朗・松本 昇
 11:15~11:30 (93) 不規則波の砕波指標について 運輸省港湾技術研究所 合田良実
 11:30~11:50 討 議 (90)~(93)

5. 懇 親 会

- (1) 期 日: 1973年11月14日(水) 18:30~
 (2) 会 場: 名古屋共済会館(名古屋市中区三の丸1丁目5の1)
 (3) 会 費: 2000円
 (4) 定 員: 60名(満員になりしだい締切らせていただきます)
 (5) 申 込 方 法: 参加希望の方は氏名, 勤務先, 連絡先, 第20回海岸工学講演会懇親会参加と明記のうえ参加費を添えて, 10月27日(土)までに現金書留で土木学会海岸工学委員会宛お申し込み下さい。

6. シンポジウム

- (1) 期 日: 1973年11月16日(金) 13:30~17:00
 (2) 会 場: 第1会場愛知県産業貿易会館4階第1会議室
 (3) テー マ: 海域汚染の調査と予測
 (4) コンビナー: 細井正延氏(名古屋工業大学)
 (5) 話題および話題提供者:
 ① 広水域における汚染調査の手法 渡 辺 貫太郎氏(東海大学)
 ② 伊勢湾における水質汚染調査 足 立 昭 平氏(名古屋大学)
 ③ 海域汚染の予測手法 和 田 明氏(電力中央研究所)
 (6) 定 員: 200名
 (7) 参加方法: 参加費無料・自由参加

7. 見 学 会

- (1) 期 日: 1973年11月16日(金) 13:00~17:30
 (2) 見 学 場 所: ○伊勢湾模型
 ○石川島播磨重工業ドック
 (3) 集 合 場 所: 行程: 第2会場愛知県婦人文化会館前 13:00 集合—伊勢湾実験所(13:30~14:10)—石川島播磨重工業(株)ドック北工場(15:10~16:00)—名古屋駅前 17:30 着解散
 (4) 参 加 費: 500円(バス代実費)
 (5) 定 員: 50名(満員になりしだい締切らせていただきます)
 (6) 申 込 方 法: 参加希望の方は氏名, 勤務先, 連絡先, 第20回海岸工学講演会見学会参加希望と明記のうえ, 土木学会海岸工学委員会宛 10月27日(土)までに現金書留でお申し込み下さい。

第18回水理講演会講演募集

第18回水理講演会を下記により開催致しますので, 講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1973年2月15日(金)~16日(土)
 2. 会 場: 発明会館(東京都港区西久保明舟町17番地・地下鉄虎ノ門下車徒歩3分)
 3. 主 催: 土木学会水理委員会
 4. 課 題: A. 水理模型(含む数値解析)
 B. 密度流・混相流(水質問題を含む)
 C. その他
 なお, 来年度は課題の1つとして「水文現象における確率過程」をとり入れたいと思いますのでご準備下さい。
 5. 申込方法, その他: 11月5日(月)までに講演題目, 講演者氏名(連名の場合は登壇者に○をつける), 勤務先, 連絡先住所を明記のうえ, 土木学会水理委員会あてお申込下さい。
 なお, 講演の採否については, 水理委員会にご一任下さい。
 6. 講演原稿締切期日: 1974年1月12日(土)(厳守)

第7回トンネル工学に関するシンポジウム ▶ 11月29日(木)~30日(金) ◀

第7回トンネル工学に関するシンポジウムを下記により開催致しますのでふるってご参加下さいませようご案内申し上げます。

1. 期 日：1973年11月29日(木)、30日(金)の2日間
2. 会 場：ニッショーホール(東京都港区芝西久保明舟町18 TEL 580-7052)地下鉄虎ノ門下車徒歩3分
3. 主 催：社団法人土木学会トンネル工学委員会
4. プログラム：

第1日目：11月29日(木)

- | | | |
|-------------|-------------------------------|------------------|
| 9:30~9:50 | 開会挨拶 | トンネル工学委員会委員長 |
| 9:50~10:40 | 委員会活動報告「鋼製、汎用RCセグメントの標準化について」 | 鋼製、RCセグメント規格化分科会 |
| 10:40~11:30 | 「沈埋トンネルの耐震設計指針(案)について」 | 沈埋トンネル耐震設計研究委員会 |
| 11:30~12:40 | 屋食・休憩 | |
| 12:40~13:00 | トンネル施工の省力化に関する総括報告 | 株式会社熊谷組 大塚 本夫 |
| 13:00~14:00 | 都市トンネルの掘削における機械化施工の問題点 | 日本国有鉄道 丹羽 俊彦 |
| 14:00~15:00 | 山岳トンネル掘削における機械力導入の効果と問題点 | 日本鉄道建設公団 横山 章 |
| 15:00~15:10 | 休 憩 | |
| 15:10~16:10 | 竹原トンネルにおけるトンネル掘削の省力化について | 株式会社熊谷組 秋野 秀夫 |
| 16:10~17:10 | トンネル工事のシステム化について | 東京都交通局 福井 正憲 |

第2日目：11月30日(金)

- | | | |
|-------------|-------------------------------|-----------------|
| 9:40~10:00 | トンネル建設における環境問題総括報告 | 日本国有鉄道 斎藤 徹 |
| 10:00~11:00 | 道路トンネルの環境対策(トンネル計画時および供用後の問題) | 建設省土木研究所 立石 俊一 |
| 11:00~12:00 | 道路トンネル建設における公害対策事例(都市部) | 日本道路公団 山本 元 |
| 12:00~13:00 | 屋食・休憩 | |
| 13:00~14:00 | 山陽新幹線トンネルにおける建設公害対策 | 日本国有鉄道 堀内 義朗 |
| 14:00~15:00 | 地下鉄工事における建設公害対策 | 帝都高速度交通営団 和田 一郎 |
| 15:00~15:10 | 休 憩 | |
| 15:10~17:00 | 映 画 | 候補未定 |
| | 1. 地下鉄関係 | " |
| | 2. 山岳トンネル関係 | " |
| | 3. トンネルボーリングマシン関係 | " |

5. 定 員：500名
6. 参 加 費：会員5000円、非会員5500円
7. 申 込 方 法：参加希望の方は本誌添付の申込書に①氏名、②勤務先、③連絡先住所、を明記のうえ参加費(現金書留)を添えてお申し込み下さい。
8. 申 込 先：社団法人土木学会事業課(郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 電話東京(351)5138)
9. 申 込 期 限：1973年11月10日(土)

EARTHQUAKE RESISTANT DESIGN FOR CIVIL ENGINEERING STRUCTURES, EARTH STRUCTURES AND FOUNDATIONS IN JAPAN, 1973

● B5判・150ページ(図絵・付図つき上製)定価1600円(〒140・海外価格8ドル) ●

1973年6月25日~29日までローマで開かれた第5回世界地震工学会議を記念して全面改訂された各分野の耐震規定を収録したもの。土質基礎、ダム、港湾構造物、上水道、橋梁に分け、土質工学会、日本大ダム会議、運輸省港湾技術研究所、日本水道協会、土木学会橋梁構造委員会が責任編集にあたった貴重な指針。

海外活動委員会研究会開催についてのご案内

土木学会海外活動委員会では、1971年8月から72年12月までの1年5カ月間にわたって Contracts, Specifications and Engineering Relations をテキストとして海外工事契約・仕様書研究会を開催して参りました。この研究会は20~30名の参加者を得、主査 吉越盛次氏、副主査 水野 昭氏、横山義雄氏、赤木俊允氏を中心に輪読形式で討論をすすめて来ました。この研究会終了後、研究会の継続を望む声が多くありましたので、海外活動委員会で協議、検討を行なっておりますが、今般イギリスの土木学会 (The Institution of Civil Engineers) 刊行の Civil Engineering Procedure をテキストとして本年10月より3週間に1回の予定(約8回)で研究会を再開することに決定致しました。

今回の研究会も輪読形式で行ない、参加者にも自由に討論に加わっていただき活発なものにしたいと考えております。本研究会に参加ご希望の方は事前に登録をしていただき、登録いただいた方のみ個々にご案内致しますので興味のある方は9月20日まではがきに「海外活動委員会研究会参申込み」と記入し、連絡先、郵便番号、住所、氏名を記入し 〒160 東京都新宿区四谷1丁目土木学会内 海外活動委員会あてご連絡下さい。

なお、研究会参加者にはテキスト代、資料代、案内通知等を含めて約1万円ご負担いただきます。

前回テキストとして使用した Contracts, Specifications and Engineering Relations は Mc Graw-Hill より著作権の許可がとれましたので現在翻訳調整の作業をすすめております。翻訳本は12月頃出版の予定ですのでご利用下さい。

海外事情に関するシンポジウム開催のご案内 <関東支部共催>

土木学会海外活動委員会では Civil Engineering in Japan の編集、研究会等の開催のほかに海外事情の調査などにつき検討、協議を行なっておりますが、今般土木学会関東支部との共催により「海外事情に関するシンポジウム」を企画いたしました。

本シンポジウムは土木技術者に興味のある国を順次とりあげ、その国に実際居住された専門家の方々から一般事情、土木事情の両面についてのお話を伺い、そのあとで参加者を含めて討論会を行なう予定であります。

皮切りにベトナム、つづいてブラジル、イランをとりあげ下記の日程で行ないますので多数ご参加下さるようご案内いたします。前回お知らせ致しました日程が講師の都合により入れかえになりましたのでご了承下さい。

○ベトナム事情：1973年10月18日(木) 14:00~17:00、会場：土木学会図書館講堂

講師 小田 親 (日本工管取締役サイゴン事務所長、ハノイ Paul Bert Collge 卒、イラン、ニューギニア、インドネシア、ユゴスラビア、ザンビア、ラゴス、ガーナ、カンボジア、ベトナム等で調査、実務経験を積む)

講師 吉松照夫 (日本工管企画部長、計画部長、ヴィエンチャン事務所長を歴任、ベトナム政府、電力省の技術顧問としてダム・ダムの維持管理、チュ・デック火力プラント工事、国連メコン河開発調査等を行なう)

○ブラジル事情：1973年11月15日(木) 14:00~17:00、会場：土木学会図書館講堂

講師 竹内良夫 (運輸省港湾局長、1972年9月より約1か月ブラジル政府の要請によりブラジルにおいて輸出回廊計画調査を行なった。)

講師 吉川和広 (京都大学教授、1972年8月より1973年7月末までの1年間ブラジル政府の要請によりパライバ大学において交通工学の教べんをとった。)

○イラン事情：1973年12月13日(木) 14:00~17:00、会場：土木学会図書館講堂

講師 吉井純行 (通産省資源エネルギー庁精製流通課、日本プラント協会テヘラン事務所長等を歴任)

講師 高橋親一 (三祐コンサルタンツ、インドネシアかんがい計画イランタンガン水資源計画に参加)

第8回土木計画学シンポジウム課題報告公募

第8回のシンポジウムは、前回に引続き「環境問題と土木計画学」を主題として実施することに致しました。今回のシンポジウムでは、とくに土木の各部門（河川、道路、鉄道、港湾、都市、衛生工学など）における“環境のとらえ方と評価”を中心に行ないます。計画者は土木事業の具体化に対して環境をどのように把握し、整理し、評価しているのか、またしてきたかに論点をしぼりシンポジウムを実施致します。課題報告のうちの一部については各部門に依頼を致しましたが、同時に会員一般からの報告を公募致します。土木事業にとって関連の深い課題でもあり、会員の課題報告を期待します。

土木計画学研究委員会

1. 期 日：1974年1月24日（木）～25日（金）予定
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 題：環境問題と土木計画学—環境のとらえ方と評価—
4. 課題研究募集要項：
 - (1) 内容；上記主題に関連する各部門のプロジェクトの報告または研究論文で、土木事業における環境のとらえ方に論点をおいたもの。とらえ方の具体的な方法として、たとえば1) 環境因子のリストアップとその重みづけ、2) 環境をおり込んだ計画または提案、3) 各部門計画のテクノロジーアセスメントなど。また、土木事業の歴史的な評価の中で環境を論じたものでもよい。発表報告は未完成のものでもよい。
 - (2) 申し込み体裁および申し込み先；課題、目次、内容を1200字程度にまとめ、個人名（またはチーム名、主査があれば○印をつける）、勤務先、連絡先等を明記のうえ下記あて送付のこと。
〒160 東京都新宿区四谷1丁目 社団法人 土木学会 土木計画学研究委員会
 - (3) 応募申し込み締切期日；1973年9月25日（火）厳守のこと
 - (4) 講演原稿締切期日；1973年12月5日（水）
 - (5) 応募資格；会員あるいは連名者のうち1名が会員であること。
5. その他：
 - (1) 応募課題の採否；土木計画学研究委員会にご一任願いたい。その結果、講演原稿については別途依頼致します。
 - (2) 講演者打合せ会；採用された課題報告者またはチーム各位は、土木計画学研究委員会幹事会メンバーと合同で、1973年10月、11月中に開催予定の講演者打合せ会に参加をお願い致します。
 - (3) 主題についての照会先；下記第8回土木計画学シンポジウム担当者あて直接お願いしたい。
 - ・武部 健一（日本道路公団東京建設局／電話 03-343-0451 番）
 - ・加藤 晃（岐阜大学工学部土木工学科／電話 0583-82-1201 番、内線 271）
 - ・市川 新（東京大学工学部都市工学科／電話 03-812-2111 番、内線 7411）
 - ・河村 忠男（土木学会事務局編集課／電話 03-351-5130 番）
 - (4) プログラム・一般参加要項；本学会誌 10月号以降の会告欄に掲載の予定。

第20回橋梁・構造工学研究発表会

▶ 11月13日（火）～14日（水）◀

1. テ ー マ：構造物の設計に対する解析への諸問題
2. 共 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
3. 期 日：1973年11月13日（火）、14日（水）
4. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目、国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
5. 会 費：聴講無料
6. 講演概要：当日会場にて実費頒布
7. 懇 親 会：1973年11月13日 講演終了後会場で懇親会を予定
8. 発表予定論文：
 - ① 弾性論の近似解に対する誤差の評価について 日本大学生産工学部 登坂 宜好
 - ② 非線形バネ承上板の有限要素法の収束について 中央大学理工学部 川原 睦人・○大坂 一
 - ③ 一部修正された振動系の固有値とその部材変数に対する変化率の決定手法について 熊本大学工学部 平井 一男・東海大学工学部 ○柏木 光博

- ④ 格子状構造物の衝撃荷重による変形 名古屋大学工学部 ○八幡夏恵子・松岡 理
 - ⑤ 壁体を含む架橋構造系の梁理論による解析 名古屋大学工学部 多賀 直恒・○吉野 俊一
 - ⑥ I形はりの塑性曲げ解析 広島大学工学部 ○松尾 彰・椋代 仁朗
 - ⑦ 有限要素法と差分法の等価性に基づく一離散化手法 川崎重工業(株) 坂井 藤一
 - ⑧ 有限要素法における摩擦力導入の一方 運輸省港湾技術研究所 岩崎 峯夫
 - ⑨ 板と骨要素よりなる構造の解析 住友重機械工業(株) 北原 俊男
 - ⑩ 有限要素法による薄板構造解析 東京大学工学部 奥村 敏恵・川崎重工業(株) ○坂井 藤一
 - ⑪ グラフ理論適用による剛性行列のバンド幅に関する考察 京都大学工学部 小西 一郎・白石 成人・○谷口 健男
 - ⑫ 周辺弾性支持扇形平板の差分法による解析 九州大学工学部 ○大塚 久哲・安藤 司
 - ⑬ 土構造物の振動特性に関する二、三の考察 (株)竹中工務店 ○小島 正敬・広松 猛
 - ⑭ 骨組構造の相似則の構造設計への応用 熊本大学工学部 ○三池 亮次・秋吉 卓・大成建設(株) 松本 弘一
 - ⑮ 合成桁の最適設計 (株)片山鉄工所 小沢 健作・梅下 恭助・○中平 進夫
 - ⑯ 移動荷重を受ける変断面連続ばりの一最適設計 信州大学工学部 長 尚
 - ⑰ 桁要素の Suboptimization による鋼連続桁の最適設計 東京大学工学部 奥村 敏恵・愛媛大学工学部 ○大久保 禎二
 - ⑱ 関門橋補剛架設時における吊橋の静力学的挙動 日本道路公団関門架橋工事々務所 大橋 陽光
 - ⑲ 鉄筋コンクリート構造物の復元力特性の解析とその応用 (株)宮地鉄工所 小塚 義夫・後藤 茂夫・○和田 忠治
 - ⑳ 衝撃によるH型鋼梁の弾塑性応答解析に関する実験研究 早稲田大学理工学部 谷 資信・○永坂 具也
 - ㉑ 弾性地盤上コアー形式構造物の静的解析 防衛大学校土木工学教室 岡元 北海・○石川 信隆・政広 雄造
 - ㉒ 2入力地震波を受ける連続基礎の応答——確率論手法による—— 東京理科大学理工学部 井口 道雄
 - ㉓ 地震時に衝突する建築構造物の動的解析 名古屋大学工学部○中村 祐喜男・多賀 直恒・松岡 理
 - ㉔ トラスの立体的力学特性を考慮した強度設計について 神戸大学教養部 竹山 和彦
 - ㉕ 多主折合成桁橋における構造要素間の相互作用に関する研究 大阪大学工学部 小松 定夫・○西村 宣男
 - ㉖ 有限要素弾塑性解析における増分計算の精度について 東京大学工学部 奥村 敏恵・○佐藤 政勝
 - ㉗ ケーブルの2次応力の解析とその評価について 横浜国立大学工学部 青木 博文・○中込 忠男
 - ㉘ 本州四国連絡橋公団建設第1部 林 有一郎・○保田 雅彦・(株)神戸製鋼所 新家 徹
 - ㉙ 大径間斜張橋の非線形形状 大阪大学工学部 林 正
 - ㉚ 支線式鉄塔の解析について NHK建築部主管 菅野 京七・NHK建築部 清水 賢治
 - ㉛ ピアノ線によるトラス構造物の補強について 小高研究所 大河原勝積・小高 昭夫・○堀江 文雄
 - ㉜ アーチ橋の大変形挙動に関する一考察 大阪大学工学部 前田 幸雄・林 正・○伊奈 隆二・神谷 信彦
 - ㉝ サイドプレート方式による角形鋼管柱仕口における3次元弾塑性解析および実験 横浜国立大学工学部 青木 博文・日本鋼管(株) 瀬古 哲・○石村 博
 - ㉞ 長大つり橋・タワー・ピア系の非比例減衰を考慮した動的耐震解析 京都大学工学部 山田 善一・○竹宮 宏和
- 注：詳細なプログラムは次号にてお知らせ致します。

第4回岩の力学国内シンポジウム(1973)参加募集

共催：土木学会・日本鉱業会・日本材料学会・土質工学会

標記シンポジウムを下記要領により開催いたしますので、関係各位にはふるってご参加くださいますようご案内いたします。

1. 開催期日：1973年11月27日(火)、28日(水)の2日間

2. 会場：ニッショーホール(東京都港区芝西久保明舟町番18地 地下鉄銀座線虎の門駅下車 徒歩約3分 TEL 03-580-7052)

3. 定員：500名(定員になり次第締切ります)

4. 参加費：一般 3000円 学生 2500円(いずれも講演集代を含む)

5. 申込み締切期日：1973年11月10日(土)

6. 申込み先：〒105 東京都港区西新橋 1-13-5 東亜別館

社団法人 土質工学会内 第4回岩の力学国内のシンポジウム係 TEL 03-502-6256

7. 申込み方法等：(1) B5判の適宜用紙に「第4回岩の力学国内シンポジウム参加申込み」と明記のうえ、参加者の氏名、勤務先、連絡先住所、所属学会、参加項目(シンポジウムおよび懇親会、シンポジウムのみ、懇親会のみを明記)を記載し、参加費を添えて土質工学会(幹事学会)へお申込みください。(2) お申込み入金のある次第、参加券、講演集引換券(1枚綴)をあらかじめお送りいたしますので、当日はこれを必ずご持参ください。講演集は、当日会場にて引換券と引換えにお渡しいたします。(3) 参加申込み後し取消しによる参加費の払い戻しは、原則としていたしませんのでご了承ください。

8. 送金方法：なるべく現金書留で送金願いたく、銀行振込の場合は振込金受取書の写を参加申込書と一緒に
お送りください。銀行振込の場合は下記へ送金願います。

振込先銀行名：住友銀行 日比谷支店/口座種別番号：普通預金 No. 215-36957-9

口座名義：社団法人 土質工学会 第4回岩の力学国内シンポジウム運営委員会

9. 懇親会：参加ご希望の方は会費を添えてシンポジウム参加申込みと同時に土質工学会へお申込み下さい。

日時：11月27日(火) 17.30~19.30

会場：レストラン立山(ニッショーホール隣り 電気ビル内)

会費：1500円(お申込み後の取消しによる返金はいたしません)

定員：50名(定員になり次第締切ります)

プログラム

注：連名の場合の○印は発表者を示す

第1日：11月27日(火) 9.00~17.00

9.00~9.10 開会あいさつ 第4回岩の力学国内シンポジウム運営委員会委員長 小野寺 透
司 会 安 江 朝 光 (建設省土木研究所)

9.10~9.30 ① 軟岩・弱層不撓乱コアの採取と試験方法

東京大学工学部 ○小島 圭二・田中 彰一・佐藤 光夫・齊藤 保祐

9.30~9.50 ② 棒状岩石試験片の音速測定法に関する一考察

公害資源研究所 ○緒方 義弘・高多 明

9.50~10.10 ③ 異方性岩盤内の応力測定法に関する研究

山梨大学工学部 ○平島 健一・(株)奥村組 古賀 明

10.10~10.30 ④ 孔内測定を利用した花こう岩の工学特性の判定について

本州四国連絡橋公団 高橋 幸蔵・タカダシロウ・中央開発(株) ○石川 浩次・羽電 忠男

10.30~10.45 討 論

10.45~10.55 休 憩

司 会 吉 中 竜之進(埼玉大学理工学部)

10.55~11.15 ⑤ 岩盤の総合評価に関する一試案

本州四国連絡橋公団 越智 啓登

基礎地盤コンサルタンツ(株) 館戸 仔・福沢 久・横川 巖・サンコーコンサルタンツ(株) 藤井 幸一

11.15~11.35 ⑥ 軟弱な粘土質岩石の圧縮試験

東京大学工学部 山口梅太郎・下谷 高澄・山富 二郎

11.35~11.55 ⑦ 岩掘さく難易判断の一試み

大成建設(株) 木 沢 恒 雄

11.55~12.10 討 論

12.10~13.00 昼 食・休 憩

司 会 西 松 裕 一(東京大学工学部)

13.00~13.40 特別講演 青函トンネル工事の計画と現状

日本鉄道建設公団青函建設局次長 松 尾 昭 吾

13.40~13.45 休 憩

司 会 茂 木 清 夫(東京大学地震研究所)

13.45~14.05 ⑧ 有効応力からみた軟岩の力学特性

京都大学工学部 赤井 浩一・○足立 紀尚・田伏 宜夫

14.05~14.25 ⑨ 岩力の圧縮試験における破壊様式と強度に関する考察

東北大学工学部 佐武 正雄・○田野 久貴

14.25~14.45 ⑩ き裂の存在および伸展ともなる弾性波伝播特性

京都大学大学院 ○関 順一

14.45~15.05 ⑪ プラスティック材料の強度・変形特性に関する粒状体の力学からのアプローチ

京都大学工学部 佐々 宏一・伊藤 一郎

15.05~15.25 ⑫ 積分方程式による浸透流の解析

京都大学工学部 丹羽 義次・小林 昭一・○福井 卓雄

15.25~15.40 討 論

15.40~15.50 休 憩

司 会 飯 田 隆 一(建設省土木研究所)

15.50~16.10 ⑬ 軟岩の機械化掘削

国鉄盛岡工事局 大 浦 勲

16.10~16.30 ⑭ 火山堆積中の立坑掘さくについて

日本鉄道建設公団 持田 豊・野田 謙治・申山 純行

16.30~16.50 ⑮ 岩盤のクリープによるロックボルト張力の緩和について

秋田大学鉱山学部 赤木 知之

16.50~17.05 討 論

(以上で、第1日目の日程終了 このあと 17.30 から懇親会)

第2日：11月28日(水) 9.00~16.00

司 会 高 多 明(公害資源研究所)

9.00~9.20 ⑯ 岩石の含水状態の変化にもなる弾性波速度および弾性定数の変化について

熊本大学工学部 ○大見美智人・井上 正康・阪神コンサルタント 鈴木 恵三

9.20~9.40 ⑰ 岩盤および岩石粗粒材の動的な弾性係数および粘性係数

電力中央研究所 ○林 正夫・北原 義浩・藤原 義一・駒田 広也

9.40~10.00 ⑱ 岩石の強度に関する研究——特に圧縮、引張せん断強度と超音波伝播速度の関係について——

北海道開発局土木試験所 根岸 正充・星野 憲

10.00~10.20 ⑲ 長時間載荷による軟岩の強度特性の変化について

建設省土木研究所 岡本 隆一・○菅原 捷

10.20~10.35 討 論

10.35~10.45 休 憩

司 会 大 草 重 康(東海大学海洋学部)

10.45~11.05 ⑳ 花こう岩の間ゲキの性質と力学的性質の関連

埼玉大学理工学部 小野寺 透・○吉中竜之進・小田 匡寛

11.05~11.25 ㉑ 岩石の圧縮破壊の機構

東京大学工学部 西松 裕一・○松木 浩二・小泉 昇三

11.25~11.45 ㉒ 岩の工学的性質と機械的掘削特性について

建設機械化研究所 三谷 健・河井 武夫

11.45~12.05 ㉓ 岩石の放電破壊に関する基礎研究

公害資源研究所 ○高多 明・緒方 義弘

12.05~12.20 討 論

- 12.20~13.00 昼食・休憩
司 会 林 正 夫 (電力中央研究所)
- 13.00~13.40 特別講演 青函トンネルの土圧測定
土木学会青函トンネル土圧研究委員会小委員長 埼玉大学教授 嶋 祐 之
- 13.40~13.45 休 憩
司 会 丹 羽 義 次 (京都大学工学部)
- 13.45~14.05 ② トンネルの崩壊と土圧論 (現象的土圧論) 国鉄鉄道技術研究所 高 橋 彦 治
- 14.05~14.25 ② 粘弾性地山内のトンネル覆工に作用する圧力に関する理論的考察 神戸大学工学部 桜 井 春 輔
- 14.25~14.45 ② 岩盤内の初期応力と地学的に推定される地殻応力との関連について
京都大学工学部 平松 良雄・〇岡 行俊・京都女子大学 伊藤 英文・京都大学理学部 田中 豊
- 14.45~15.00 討 論
- 15.00~15.10 休 憩
司 会 山 口 梅 太 郎 (東京大学工学部)
- 15.10~15.30 ② 進行波に伴うトンネル周辺の過渡応力状態
京都大学工学部 丹羽 義次・〇小林 昭一・建設省 松本 忠章
- 15.30~15.50 ② トンネル掘削が既設トンネルに及ぼす影響とその対策 (中央高速笹子トンネル結果報告)
日本道路公団京都建設局 柳 場 武・周佐 光衛・大成建設 (株) 和田 満徳・坂野 良一
日本発破エンジニアリング (株) 中野 雅司
- 15.50~16.05 討 論
閉 会

第23回応用力学連合講演会開催について

共催 日本学術会議力学研究連絡委員会, 土木学会ほか8学協会
別印刷の詳細次第書がありますので, 本会会員でご希望の方は, はがきで下記日本機械学会 (幹事学会) あてご請求ください。

1. 日 時: 1973年10月30日 (火), 31日 (水) 9.30~
2. 会 場: 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34 電話 東京 (03) 403-6291/地下鉄 ; 千代田線乃木坂下車)
3. 講演論文: 予約頒布いたします。抄録集は9月末にできる予定ですが, 部数に制限がありますから, 下記によりなるべく早めに下記幹事学会あてお申込みください。予約特価1冊2200円 (予約申込みに限り送料は負担いたします。) なお予約期限後 (10月9日以降) 定価は2500円 (別に送料200円) 当日は売切れの場合もあります。
5. 予約申込締切: 10月8日 (月)
6. 申込方法: はがき大の用紙に「第23回応用力学連合講演会講演論文抄録集申込み」と題記し, (1) 連絡先「住所または勤務先の所在地・名称・部科 (課) 名」, (2) 所属学会会員資格, (3) 氏名 (ふりがな), (4) 送金額および抄録集の冊数を記入のうえ, 下記あてお申込みください。
7. 論文抄録集申込および } 〒107 東京都港区赤坂 4-1-24 (日本規格協会ビル3階)
別冊次第書請求先 } 社団法人 日本機械学会 電話 東京 (03) 582-6911

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階)
電話 札幌 (011) 251-7038・261-7742

論文報告集第30号の原稿募集

1. 原稿の内容: 現場施工技術・工事報告を含む土木工学に関する学術ならびに技術的な論文および報告
2. 申込締切期日: 1973年10月31日 (水)
3. 申込要領: 論文題目, 発表者の所属, 氏名および原稿用紙の手書用とタイプ用の別を明記の上, かならずはがきで当支部事務局 (060 札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階) へお申込み下さい。ただちに, 当支部所定の原稿用紙・同執筆要領を送ります。
4. 原稿締切期日: 1973年12月20日 (木) 必着 (期日におくれたものは受理できません)
5. 刊行要領: 土木学会北海道支部論文報告集第30号としてオフセット印刷し, 明年2月上旬発行予定。
6. 発表会期日: 1974年2月14日 (木), 15日 (金) 2日間の予定

7. その他: ① 発表者は、当支部所属の会員とする。
 ② 応募論文は、支部奨励賞の選考対象となる。
 ③ 本年度から執筆要領が変更になっているので、特に注意すること。

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル 3階)
 電 0222-22-8509

(1) 講演と映画の会

▶10月25日(木)◀

1. 日 時: 1973年10月25日(木) 9:00~14:30
2. 場 所: 建設会館6階(仙台市上杉 1-40-20)
3. 会 費: 無料(一般の方でも結構です。どうぞお気軽においで下さい)
4. 題目および講師:

9.00~9.10 開会のあいさつ	土木学会東北支部幹事長 藤井 浩
9.10~10.35 東北縦貫高速道路工事について	日本道路公団仙台建設局長 玉田 茂芳
10.35~12.00 東北新幹線と地域開発について	日本国有鉄道仙台鉄道管理局长 鈴木 秀昭
12.00~13.00 (昼 食)	
13.00~14.30 映 画(題未定)	

(2) 見学会

▶10月26日(金)◀

1. 見 学 先: 日本国有鉄道東北新幹線蔵王トンネル工事
2. 日 時: 1973年10月26日(金)(雨天でも決行)
3. 集 合: 仙台市役所噴水前; 午前8時50分まで(山形交通バス使用)
4. 行 程: 同所午前9時出発(時間励行)。10時40分新幹線白石工事区到着(20分間同所にて説明をうける)。2班に別れてトンネル工事見学(見学時間: 1時間20分)。後再び白石工事区に戻り13時30分昼食。16時仙台駅前解散
5. 会 費: 700円昼食, バス代等
6. 定 員: 50名(定員に達し次第申込順に締切り)
7. 申 込 み: 勤務先, 連絡先, 氏名を明記のうえ, 会費700円をそえて支部事務局へ早目にお申し込み下さい。会費の納入がない場合は正式の申し込みとはいたしません。申込み受理後の会費は返金いたしません。
8. 参加資格: 正会員, 賛助会社社員(ただし, 1社3名以下とします)
9. 服 装: 現場服・作業服が望ましい(長靴, 雨合羽, ヘルメットなどは国鉄から貸与される見込みですが, 不足する場合にそなえて, お持ちの方はなるべく準備して来て下さい)。

(3) 技術講座と映画の会

▶11月20日(火)◀

1. 日 時: 1973年11月20日(火) 10.20~16.00
2. 場 所: 農業会館(青森市新町)
3. 会 費: 聴講無料(ただし, 聴講者の便宜をはかり, 希望者には当日会場においてテキストを実費頒布いたします)
4. 講座および講師:

10.20~10.30 開会のあいさつ	青森県土木部長 寺本 義男
10.30~12.00 建設工事に伴う振動および騒音について	東北地方建設局技術管理官 西野 徹郎
12.00~13.00 (昼 食)	
13.00~14.30 東北縦貫高速道路工事について	日本道路公団仙台建設局技術第三課長 河島 恒
5. 映 画: 題未定 14.30~16.00

(4) 技術研究発表会予告

1. 日 時: 1974年2月22日(金)の予定
2. 場 所: 宮城県民会館の予定
3. 詳 細: 後日発表いたします。

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷丁 1 目・土木学会総務課内)
電話 03-351-4133

(1) 「広瀬ダム・精進湖有料道路」見学会 ▶ 10 月 29 日 (月)~30 日 (火) ◀

清らかな秘境，笛吹川をさかのぼる総合開発事業，広瀬ロックフィルダム，現学見学会（49 年 11 月湛水開始）。向学に燃える土木学会諸氏の参加を望む。

1. 期 日：1973 年 10 月 29 日 (月)~30 日 (火) の 2 日間
2. 集 合：29 日 8 時 50 分・土木学会 (国電四谷駅 300 m)
3. 行 程：29 日 9 時 土木学会発—中央高速道—11.00 大月—11.30 笹子トンネル—12.00 勝沼 (昼食)—14.30 広瀬ダム—16.00 勝沼 (ぶどう狩)—17.30 石和着 (山脈荘泊)
30 日 9 時 石和発—甲府バイパス—精進湖有料道路 (48 年 4 月開通)—富士スバルライン
11.30 五合目—13.00 レイクホテル (昼食)—河口湖—大月—16.30 新宿着解散
4. 参 加 費：5000 円 (1泊4泊食，バス代を含む)
5. 定 員：50 名 (着金の順に 50 名)
6. 申 込 み：希望者は，10 月 15 日 (月) までに氏名，年令，勤務先および連絡先等を明記のうえ，参加費を同封し，現金書留で関東支部あてお申し込み下さい。なお，期限前でも，定員になり次第締切ります。

(2) 「最近の建設機械の話題」講習会 ▶ 12 月 3 日 (月) ▶

今回は，建設機械を話題としてとり上げました。

最近の建設機械は，ますます大型化する建設工事や，工事中における周辺の環境保全に適合すべく，その開発研究には，めざましいものがあります。

このたび，日ごろ，それらの機械に取り組んでおられる方々をお招きし，各建設機械の特長や問題点などについて，お話をさせていただく機会を得ましたので，多数ご参加下さるよう，ご案内いたします。

主 催：土木学会関東支部

共 催：日本建設機械化協会

1. 期 日：1973 年 12 月 3 日 (月)
2. 会 場：発明会館ホール (東京都港区芝西久保明舟町 17/電 03-502-0510)
3. プログラム：

9.20~9.30 開会あいさつ	土木学会関東支部長 八十島 義之助
9.30~10.40 土工機械	日本国土開発 (株) 研究部次長 佐藤 裕 俊
10.50~12.00 基礎工機械	(株) 大林組技術研究所次長 齊藤 二郎
13.00~14.10 コンクリート工機械	(株) 竹中工務店技術研究所主席研究員 三浦 満 雄
14.20~15.30 トンネル機械	日本鉄道建設公団青函建設局機械課長 桂木 定 夫
15.40~11.50 舗装機械	日本舗道 (株) 機械部車輛課長 高野 漢
16.50~17.00 閉会あいさつ	土木学会関東支部幹事長 藤井 敏 夫
4. 参 加 費：1500 円 (テキスト代を含む)
5. 申 込 み：希望者は，11 月 24 日 (土) までに氏名，所属部課名および連絡先を明記のうえ，参加費を同封し，現金書留で関東支部あてお申し込み下さい。
〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会関東支部 (03-351-4133)

中部支部行事案内 (郵便番号 460 名古屋市栄 2 丁目 17 番 22 号・科学会館内)
中部科学技術センター 電話 052-231-3043

昭和 48 年度中部支部第 2 回講演会 ▶ 10 月 19 日 (金) ◀

1. 日 時：1973 年 10 月 19 日 (金)
2. 場 所：長野県勤労者福祉センター 1 階ホール 長野市旭町
3. 演題および講演者：

9.55~10.00	開会の辞	土木学会中部支部長	西 畑 勇 夫
10.00~11.00	欧米の道路事情について	長野県道路維持課長	永 田 進 一
11.10~12.10	中部圏における国鉄の最近の工事について	国鉄岐阜工務局調査課長	伊 藤 友 太 郎
13.00~14.00	高瀬川再開発計画について	東電高瀬川水力建設所長	佐 藤 友 光
14.10~15.10	長野県における地すべりについて	信州大学教授	川 上 浩

4. 会 費：無料（一般の方でも結構です。どうぞお気軽においで下さい）

関西支部行事案内（郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地 船場センタービル4号館）
409号 電話 大阪 06-271-6686 番, 振替口座 大阪 82599

(1) 都市計画に関する講演会

主 催：(社)土木学会関西支部

協 賛：(社)日本建築学会近畿支部・(社)日本都市計画学会・(財)都市計画協会

土木学会関西支部では、最近の知識と情報を広く普及する場として、講習会をもち、年々回を重ねて参りました。

今回は、今日焦眉の急の解決をせまられているとともに、また長期の視野を要する「都市計画」をテーマにとりあげ、幅広い講師の方々をお願いして、多面的な角度からこれを解明して頂くことを企画致しました。

関係各位の積極的なご参加を期待しております。

1. 日 時：第1回 1973年10月24日(水) 13.00~17.00
第2回 1973年11月28日(水) 13.00~17.00

2. 会 場：第1回, 第2回とも
大阪科学技術センター8階小ホール 電話大阪 06-443-5321 番
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄四ツ橋線本町下車, 北へ150m, 靱公園北東角)

3. 題目と講師：

第1回 10月24日(水)

13.00~13.10	開会挨拶	土木学会関西支部長	松 尾 新一郎
13.10~14.00	① 再開発の適地性について	京都大学教授工学部 工博	天 野 光 三
14.00~14.55	② バリの再開発——ラ・デファンスを中心として——	首都高速道路公団	沼 田 昌一郎
15.05~16.00	③ 法律学の見地から見た都市計画	神戸大学教授法学部 法博	山 田 幸 男
16.00~16.55	④ 日本の都市の伝統と保存修景計画	京都大学助教授工学部 工博	西 川 幸 治
16.55~17.00	開会挨拶	土木学会関西支部幹事長	室 田 明

第2回 11月28日(水)

13.00~13.10	開会挨拶	土木学会関西支部長	松 尾 新一郎
13.10~14.00	① 都市交通計画の基礎	京都大学教授工学部 工博	佐 佐 木 綱
14.00~14.55	② 新種交通機関の展望	(株)神戸製鋼所	浜 田 秀 夫
15.05~16.00	③ 廃棄物の輸送および処理システムからみた都市容量	京都大学教授工学部 工博	末 石 富太郎
16.00~16.55	④ 写真測量と都市調査	京都大学助教授工学部 工博	森 忠 次
16.55~17.00	開会挨拶	土木学会関西支部幹事長	室 田 明

4. 定 員：100名

5. 聴 講：無料 来聴歓迎

6. 申込期限：第1回 1973年10月9日(火) 第2回 1973年11月13日(火)

7. 申込方法：参加ご希望の方は参加回名(第1回・第2回の別)および参加予定人員をおまとめのうえ申込期限までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部へお申し込みください。なお、参加証は発行いたしませんので、ご了承ください。

(付) テキスト頒布について

近畿開発と大型土木プロジェクト	頒 価	350 円	送 料	100 円
写真測量とその応用	"	700 円	"	130 円
構造工学—長大橋梁の諸問題—	"	2200 円	"	130 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。